

迷宮の奥で変わり果ててゆく肉体と精神。冒険の果てに待つのは……

サリフイ プリンセス

～発情快楽器官へと改造された勇ましき王女～

フルカラー
39P

こんな所
救世の姫たるアタシが
ぶっ潰してやるわ!!

ここが
噂の悪の
ダンジョンね!!

触手生物

ひっ……

古代王国の
遺構
『墓所』
グレイブ

仕掛けや魔物に
満ちた
危険な迷宮だが

古代の秘宝を求め
探索に向かう者
たちは多い

亡国の王女が
行方不明に…とか
異形に変貌した
女騎士がいる…等

墓所には数多くの
不穏な噂があるが
金や名声を求める
者は尽きない

そんな
危険な場所に

あらたなる
イケニエが
またひとり…

くっ！

誰かっ
誰かいらないの？

ギニッ

ギニッ

くっ...

ちょっと聞いている？
アタシを誰だと思ってるの!!

ギョッ

ぐん

ジャラ

ファルゼ王国の
王女に
こんなことして

タダで済むと
思わないほうが
いいわよ!!

ファルゼ王国
第2王女
カサンドラ

聖剣に選ばれし
救世の姫(自称)

…あくまで
自称である

サガリフェイス
プリンセス

～発情快楽器官へと改造された勇ましき王女～

やれやれ
久しぶりのイケニエは
さわがしいな

だっ
誰よっ!?

ククク...

私は
グレイイン
グレイキパー
この墓所の墓守

ボウ...

最下層にようこそ
久しぶりの来客だ
歓迎しよう

墓守...
あなたがあの...

ようやくの
おでましね!

さあ...
この拘束を解いて
アタシと
勝負なさい!

ふむ...?

グッ
チャッ!

威勢よく
私の墓所に
突っ込んできて

ここが
噂の悪の
ダンジョンね!!

こんな所
救世の姫たるアタシが
ぶっ潰してやるわ!!

そんな大言を
吐くからどれほどの
者かと思えば…

入った直後の
トラップを
素直に踏んで

んがっ

そのまま
気を失って
あっさり捕まった

キューン…

う
う
ううっ

愚かな娘が
私と勝負…ねえ

うるさいっ!

そもそもそれは
聖剣ではないね
ただの剣だ

世間知らずが増長し
私の墓所に来たか…
ふむ、まあいい

なら私と勝負をする
資格があるのか
見せてもらおうか

しっ
資格…?

なっ…

装備が…
なんでえええ
ええ——っ!?

そう騒ぐな
キミの身体を
少し借りるだけだ

これは私が
作り出した
触手生物の幼体だ

ひっ…

ホトッ

キィッ

これからキミの
身体でこいつらを
育てて貰う

その際
寄生した母体を
改造する習性がある

それは人体に
寄生するとおよそ
一日で成体へと
成長するのだが

キィッ

ねえっ何言ってるの!?
身体で育てるって
どういう…

ぐわん!!

ニユル

例えば乳房に
寄生したものは
乳房を肥大させ

ちよっ…

膣や子宮やアナルに
寄生した場合は
それらを
拡張したりな…

ずいずい…

ずいずい…

にゅる

そんなトコに
入ったら…っ

くうっ…このっ…
一体何の目的で
こんなことを…

ざりゃ…
にゃる

カッ
カッ

ハッ
ハッ

身の程しらずにも
挑戦しに来たキミに
その資格を与える
ためだと

さっきも
言っただろう？

成長仕切る前に
墓所から脱出できれば
その触手は消滅する

じゅる…
じゅる…
じゅる…

だが
もし間に合わずに
成長しきった場合…

極太の触手たちが
穴という穴から
這い出てキミを
犯し尽くすだろうな

なっ…

ここから
外まで
だなんて…

そんなの
間に合うわけ
ないじゃないっ



だが安心したまえ
これは墓所内の様子を
映したものだ

ふむ
確かに一理ある
最下層だしな

ここにいる
魔物たちの精で
寄生部分を満たせば
触手の成長が一時止まる
その間に先に進むといい

魔物は常時
発情状態にしておくから
求めには喜んで
応じるはずだ

なっ…

それってつまり
魔物と…
その…あの…

そんなこと
できるわけ
ないじゃない!

だがそうしなければ
ほらそろそろだぞ

寄生させてる
体内を精で
満たすって…

ぐちゃ…

えっ…

ああっ…

アタシの
胸がっ…!?

改造はすでに
始まっているぞ

もちろん
どの道を選ぶかは
君の自由だ

くっ…
勝手な事を…

私はじっくり
観戦させて
もらおうしよう

あっコラ

待ちなさいっ!

ゴゴゴ



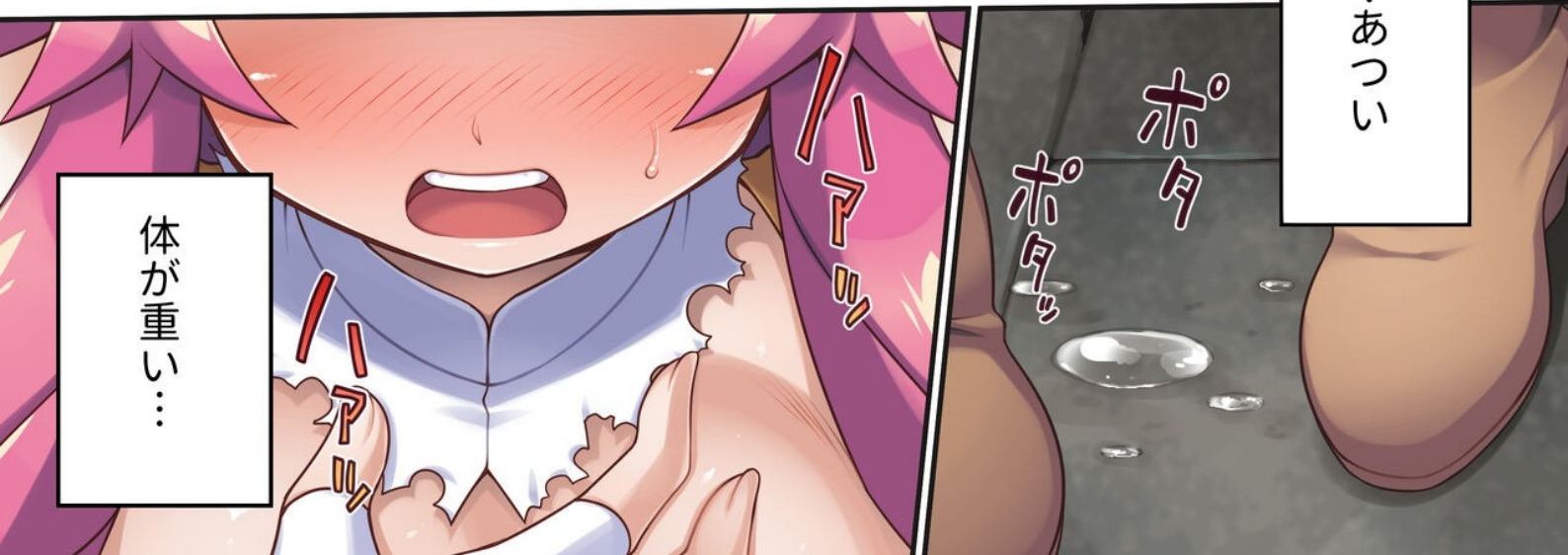
誰が魔物などと
まぐわって
やるものかっ！

期限前にここから
抜け出してやるっ！

アタシはこうして
出口を求めて
歩き出したん
だけど…

いいだろう
その勝負
受けてやる…っ！

…ハッ



体が重い…

…あつい

ポタ
ポタッ

ハアッ
ハアッ

発情した
魔物から
隠れながら
進んできたけど…

胸も…おなかも…
はあっ…どンドン…
重くなるし…んっ

くそっ…

体の…改造が…
はふうっ…
とまらない…っ

アソコも
おしりの穴も…
ふううっ…緩んで…

にゅるん

くはぁ

ぬちゅ

んぐんぐん

カクッ

んん…

さつきから
ずっと
この体が…っ

はあ…

それだけなら
まだ耐えられる
…のに

トクン



もう我慢
できないっ！
アソコがうずいて…

んっ…
ふあああんっ!!

身体の火照りが
止まって
くれないっ!!

このままじゃ
アタシ：っ

うろた

触手が
成長するに
つれて

全身が
すごく敏感に
なっていく
みたいで：

はあ

おちあ…

グッグッ

コイツ
じゃないか？
やらして
くれる女って

殺しちゃダメだが
犯して中出し
しまくっても
いいらしいぜ

グハハハ

あ…あ…っ

ガッ
ガッ
ガッ

そんな…

ブヒヒッ
そりやいいや

オーク…!!

ズン

ズン

ズン

ズン

なんて大きさ…
こんな汚らしい
モノ…
ダメ…ダメなのに…

身体が
こいつらのソレを
欲しがってるっ…

ひく
ひく
ひく

でも…

オークとなんか
そんなこと
したくない…
はずなのに…っ

お…
お前たち…

トロ



でも…そう
これは脱出
するまでの間に

触手の成長を
止めるためだもの
仕方ないわよね

こ…光栄に
思いなさい

このアタシ…
ファルゼ王国
第2王女の…

アソコと
おしりを
犯させてあげる

クツクツクツ
それはありがてえ

エヘヘエヘ
お楽しみさせて
もらいます

王女サマ

ぬちゅ

くちゅ

ハア…♡

ハア…♡

くはぁ…

ドロ…
ニル…

カッ…





何コレ何コレ…
初めてだから
少しは痛いと思
ってたのに…

あ…あ…あ…♡

快感でおかし
なりそうっっ
コレが改造
されてるって
コトなの…？

お尻の穴なんて…
自分で触れたこと
もなかったのに…っ



あ…があっ…
大っきいのが
入っちゃってる…っ

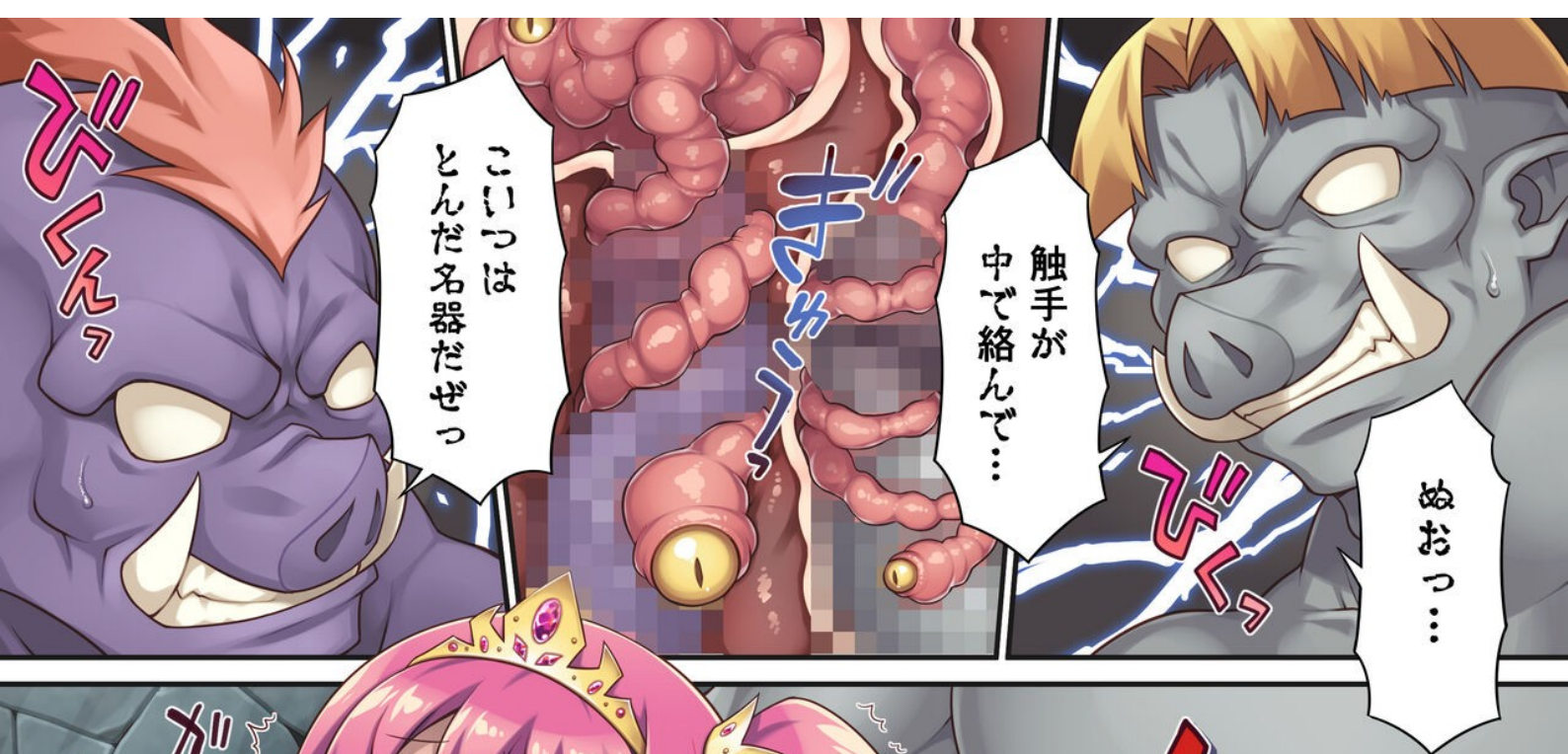
おなかの中の
触手たちを
押しつぶしてるうっ！

ほっ

ひゅん

ズ

ズ



なっ…

また
胸がっ…

大きく
なってる…っ

そ…そうだ
胸の中の触手を
忘れてた…

こんな所に
どうやって
精を満たせば…

ギギッ

ギイッ

ボンッ
ブルッ

ま…
待って

待ちなさい
あなた達っ

何だ？
おっぱいが
寂しいって？

ブルッ
スルッ

にゅるん

ギョッ

このままじゃ
アタシ…
胸だけ触手を
止められないっ

ちがっ…
しい

仕方ねえ
なあ…

いるんだろ
妖精ども
出てこいよ

キラッ

はいはい
いますよ

ボクたちに
何か用？

この王女サマが
おっぱいにも
入れてほしいとさ

えっ
いいの？
わーい！

えっ…何？
こいつらが
妖精…？

ギョッ

ちよつ…待っ

あつ…
あああつ！

ボクたちも
なんだか
ムラムムして
困ってんだー

お姉さんの
おっぱい
借りちゃうねー

グッ
グッ
グッ



スゴイ
お姉さんの中
あったかい

ふぎい...

本当だ
ボウラのメス
なんかより
ずつといいや

んぎ...あ
あああ♡



なっ
なんなのこれ...っ
妖精サイズ
とはいえ...

胸にアレを
挿入されるなんて
おかしいのに

何でこんなに
気持ちいい
のおっつ

こんなっ

こんな...っ

ダメえっ
おかしくなるっ



んひいあ
あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...
はあ...はあ...

きもちよすぎるう
つつつつつ!!!

止まって
いく...

あ...あ...
あ...

体内の触手の
動きが...

ズル...



じゃあな
王女サマ
気持ちよかったぜ

く…
屈辱だわ…っ
いくら触手の
せいとはいえ

この先も
頑張つてね〜♪

魔物相手に
こんなに
乱れてしまう
なんて…

でもおかげで
触手の成長も
止まってるみたい…
これなら…

急いで…

出口を目指さ
ないと…

それからも
アタシは
墓所を彷徨い
続けた…

ヨロヨロ…

その道中でも
触手が成長
するたびに

あぐんぐん!!

グヒイイ
イイツ!!
デルゾオ!!

ひいひいひい
いっくん!!

イッパイダシテ
ハラマセテヤルぜ!!

アタシは
魔物たちと
何度もまぐわう
はめになった





オーク共とは
くらべものに
ならない極太の
モノを持つ

ンンンンッ！
フッ！ フウウ
ウウッ！

ふあああッ！
ああッ！ 深いッ！
はあッ ぐううッ！

グウッ！
ブフウウッ！
グウウウッ！！

アタシのカラダは
気がつくと
ソレも平気で
呑み込めちゃう

そんな体に
改造
されていた



もちろん
魔物の精で
触手の成長は
一時的に止まる

グウツ！
ウウウツ！
グオオオオオオンツ！



あっ ひゅっ…
ひいっ ふうっ…



あっ ひゅっ…
ひいっ ふうっ…

だが止まるだけで
改造された身体は
戻りはしない

結局触手は
成長を続け
そして：





——そして
遂に

はあっ…

もう…
少しで…
出口…っ

出られさえ
すれば…
この体も…っ

お尻も…
拡がりすぎて…
ずっと
たれ流しだし…

腸内も子宮も
触手で
ギチギチで…

今にも
這い出して
きそうだけど…

はぁ…

みち

ギィ

ギィ

はぁ

ピョ

ピョ

ズル

ズル

ここから
出さえすれば…

あの出口に
たどり着きさえ
すれば…

アタシは…
戻れ…

カッ

コン!

おおっと

え…

フュウ…

済まないな…
うっかり転移罫を
外し忘れていた
ようだ

何心配するな
帰り道が半日ほど
伸びるだけだ

ちなみに
その通路は
魔物も出ない
安全な道だ

あは…

131
レヤッ

あ……はは……

安心して
進みたまえ

おははっ

おはははははは！！

は...

又心して
追みたまえ

ズルルル!

あははははは

A close-up of a character's mouth, showing the tongue and teeth. The sound effect 'KILILU!' is written in large, stylized, colorful letters across the mouth. The letters are yellow and orange with black outlines. The background is a solid red color.



触手たちが…はああ…
アタシの中から
出ようとして…るっ

んあぁ♡

しゅ
しゅごいっ
何コレ…
はっ、ああ…
内側から…
ズボズボ
犯されてっっ

そうさキミが
彼らをここまで
立派に育てたんだ



アタシが…
この子たちを…

これスゴい…
今までの魔物
なんかと…
くらべられないよお

気持ちよくて
おかしく
なりゆううっ…

気持ちいいのは
当然だ

彼らはそのために
成長したの
だからね

アタシを
気持ちよく
するために…

うれしい…っ♡

ズルルルッ♡

ズルルルッ

んはぁ♡

もっともっと
かきまわしてっ♡

アタシの中を
ズボズボしてえっ♡

ははは
喜んでもらえて
光栄だ

んはぁ♡♡♡

そんなの
ダメえっ！

わたしの身体
もっと壊して
いいからっ…

でもいいのかな
このままだと
彼らは

君の身体から
出ていって
しまうよ

ズルルルッ！

ズルルルッ！
ズルルルッ！
ズルルルッ！

グニッ

ぬちゅっ



おじおおおおっ♡

ガッ
カッくんっ

ボッ
ボッ

全部帰って
きたあああっ♡

えっ…待って
そこはっ…

ドッ
ドッ

ぐいっ

ぐいっ
ぐいっ

んぎっ

ドッ
ドッ

違う…のおっ
入れちゃダメな
ところおあっ！

ぢり
ぢり
ぢり

なの…
にいっ

びくっ



アタシの身体全部が
全部触手たちで
満たされていく……

苦しいはずなのに
快感と喜びしか
感じない…

ああっ…
アタシの中から
生まれては
戻ってきて

触手たちが
愛おしくて
たまらない

このままずっと…
 こころで…
 あれ…？

アタシそう言えば
ここに何しに
来たんだっけ……

みんらっもっろ
じょぽじゅぽ
ひてっ♡

アタシは
ここで…

マ
マ
アタシをもっと
キモチよくしてっ

もっ
とっ
とっ
っ
♡

もっ
とっ
♡

アタシの
こども
触手たちと
いっしょに…

…うん
もういいや
どうでもいい

おち



ジュジュ

グググ

グググ

グググ

ジュジュ

おはおは
おはおは
グググ

ズルル

ジュジュ
おはおは

おは...
このおは...

ズルルルルルルル!

...

まあ良い
新種の触手の
テストには
なった

触手たちの女王よ
キミの身体は
もはや老いも
滅びもしない

これからも
好きなだけ産んで
増やすといい

永遠にな…

あ
き
こ

人おき♡

3"しか、♡

いっしょに